

中央大学心理学第15期生 2020年同窓会

2020年1月26日（日）、中央大学心理学第15期生の同窓会を17名の参加者を得て、懐かしいお茶の水で開催しました。前回は2001年でしたから、約20年ぶりの同窓会。全員が60代を迎えての再会となりました。

当初は2019年10月の予定でしたが、なんと当日の12日に台風が直撃するとの予報。鉄道の計画運休などもあり、残念ながら延期としたため、今回はリベンジ同窓会となりました。

さて、私たち第15期生が中央大学駿河台校舎の白門をくぐったのは1977年（昭和52年）の春。翌1978年には大学が多摩へ移転したため、私たちは駿河台を経験した最後の世代かつ多摩校舎へ移った最初の世代です。最後の駿河台では、ロックアウトで学年末の試験がすべてレポート提出となったのも懐かしい（ありがたい？）思い出です。28組（独語選択）、29組（仏語選択）の2クラス64名は、調査などのグループワークや頻繁な飲み会で親交を深めていました。特に思い出に残るのはたまり場だった文学部棟地下の喫茶室。150円のカツ丼の味は懐かしい思い出です。

前回の同窓会に参加できなかった方とは、約40年ぶりの邂逅。それでも学生当時の面影がすぐに甦り、話が弾みました。

入学時のクラス名簿は、在学当時からの漫画家Y氏作の表紙イラストや居住地の沿線マップなどの懐かしい情報でいっぱい。40年ぶりに皆でそれを手にして昔話に興じ、近況報告や当時の写真のスライドショーで盛り上がりました。

次回の同窓会は10年いや5年後ぐらいに開催できたらと考えています。同期の皆様の元気な参加をお待ちしています。

最後に、心理学の会にもご協力いただきました。心より感謝申し上げます。

（中大心理学第15期生同窓会実行委員会 大橋政之 大橋綾子）